

2 0 2 4 年度

第 7 回 理事会 議事録

公益財団法人北海道サッカー協会

2024 年度 第 7 回 理事会

議 事 録

1. 日 時 : 2025年3月8日(土) 13時00分から15時12分

2. 場 所 : 北海道フットボールセンター 3F 会議室 WEB会議
札幌市豊平区水車町5丁目5-41

3. 出席状況 (以下全て敬称略)

- (1) 理事総数 29名
- (2) 理事定足数 15名
- (3) 理事出席総数 26名

(4) 出席理事(3名)
越山 賢一、船田 清、八島 隆志

(5) WEB会議システムによる出席理事(22名)
鷺津 裕美、杉原 賢、大岩真由美、大橋 穰、上田 充士、佐賀 主昌、藤井 陽一、
佐藤 英隆、大石橋計幸、野呂 雅友、中川 綾子、深澤 昌明、柴田 靖士、磯辺 正道、
對馬 紀一、野田 篤志、鈴木 敏之、北国 浩、谷口 直寿、中田 孝一、高橋 勇樹、
本山 哲司

(6) 欠席理事(4名)
後藤 猛、池端 一樹、八城 雅彦、橋本 誠司

(7) WEB会議による出席監事(1名)
吉川 賀恵

(8) 欠席監事(2名)
永浦 政司、山田 純之

(9) 理事会運営規則第3条1項による、オブザーバー出席特任理事(7名)
高木 真一、石尾 浩一、尾見 秀樹、橋本 美湖、遠藤 祥悦、鈴木 宏和、藤田 稔人

(10) 理事会運営規則第3条2項による、オブザーバー出席者(2名)
室蘭FA副理事長 和崎 拓也、HKFA財務副委員長 真保 温

記録: 安芸瑞穂事務総長

4. 議 事

- <決議事項> 第1号議案 HKFA中期ビジョン制定の件
- 第2号議案 2025年度事業計画の件

	第3号議案	2025年度収支予算の件
	第4号議案	2024年度(公財)北海道サッカー協会表彰の件
<報告事項>	第1号報告	2024年度決算見込みの件
	第2号報告	特別委員会報告の件
	第3号報告	業務執行理事の業務執行状況報告の件

(1) 定足数確認・議長選出

安芸事務総長より、本会議はWEB会議システムにより開催され、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意思表示が互いにできる状態であることが確認された。

理事総数29名中出席理事26名、欠席理事4名。定足数15名により、定款第38条に基づき、本会議は有効に成立していることが報告された。

また、理事会運営規則第3条1項に基づく特任理事7名のオブザーバー出席が報告され、同第2項に基づく2名のオブザーバー出席が承認された。

続いて、定款第37条に基づき越山会長が議長となることを告げた。

(2) 議事録署名人・書記の選出

安芸事務総長より、定款第39条に基づき、会長及び本会議に出席した監事を議事録署名人に指名した。書記は安芸事務総長が務める。

議事録署名人	会長 越山 賢一
	監事 吉川 賀恵

(3) 議決事項

第1号議案 HKFA中期ビジョン制定の件・・・越山会長
議案書に基づき、説明を行った。

HKFA中期ビジョン(2025～2028)

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 1. 選手の強化 | ・・・全国ベスト4以上を目指す |
| 2. 財務体質の強化 | ・・・自主財源の獲得 |
| 3. 登録者数の維持 | ・・・普及活動と戦略的投資 |
| 4. HKFA組織の強化 | ・・・地区協会・各種連盟・各種委員会との連携強化など |

2024年4月に公表した会長の中期ビジョンを軸に協会の中期ビジョンを制定し、協会の目指す姿をサッカーファミリーと共有する。ビジョンの初年度である2025年度は、各委員会に目標設定と目標達成のための具体的方策を提案していただくと説明があった。

説明のあと、以下の質疑および意見があった。

(深澤) 中間評価、見直しは行うのか。

(越山) 都度、中間的な確認は重要と考えている。検討したい。

他に質疑、意見なく、出席理事に賛否を諮ったところ、理事全員の賛成を得て原案のとおり可決した。

第2号議案 2025年度事業計画の件・・・八島専務理事
議案書に基づき、説明を行った。

2025 年度も普及振興・啓発事業、競技力向上事業、競技会開催事業、指導者・審判員養成事業の 4 区分で事業を計画した。新規事業および廃止・統合事業の説明は資料のとおり。2025 年度はHKFA中期ビジョンで示した「戦略的事业」を 6 事業展開すると説明があった。

説明の後、出席理事より質疑、意見なく、賛否を諮ったところ、理事全員の賛成を得て原案のとおり可決した。

第 3 号議案 2025 年収支予算の件・・・船田副会長（財務担当業務執行理事）、真保財務副委員長 議案書に基づき、以下の説明を行った。

【正味財産増減予算書】		(単位:千円)	
2025 年度		2024 年度	増減
I 一般正味財産増減の部		I 一般正味財産増減の部	
1 経常収支の部		1 経常収支の部	
(1) 経常収益 計 389,197		(1) 経常収益 計 385,219	3,978
(2) 経常費用		(2) 経常費用	
登録料 27,000		登録料 29,000	△2,000
事業費 316,578		事業費 317,289	△711
管理費 12,275		管理費 11,532	743
交付金 33,344		交付金 33,398	△54
計 389,197		計 391,219	△2,022
当期経常増減額 0		当期経常増減額 △6,000	6,000

2025 年度予算について、この度提案したHKFA中期ビジョンにある「未来型」を目指し作成した。

- ① 4 つの柱となるキッズ、4 種、女子、シニアを対象とした戦略的投資事業を 6 事業実施する。
- ② 加盟団体への交付金は登録数の減少が続いているが、大幅な減額とならないよう調整した。
- ③ 事務所設置支援費の減額開始年であるが、一年間据え置き 2025 年度も継続支援とすること、また、事務局員雇用について雇用形態の多様化を鑑み、提出書類を雇用契約書に限定しない事を変更した。
- ④ 委員会とのディスカッションで寄せられたボランティア謝金の見直しは、2026 年度予算申請に間に合うよう検討する。

説明のあと、以下の質疑および意見があった。

(深澤) ビジョンにもあるように人材確保は重要である。ボランティア謝金の見直しに時間をかけることなく取り組んで欲しい。

(真保) 2026 年度の予算編成を行う 2025 年度中に検討する。

他に質疑、意見なく、出席理事に賛否を諮ったところ、理事全員の賛成を得て原案のとおり可決した。

第 4 号議案 2024 年度(公財)北海道サッカー協会表彰の件・・・八島専務理事（総務委員会委員長） 議案書に基づき、説明を行った。

HKFA表彰規程並びに表彰取扱い要綱により、7 個人 5 団体を推薦。手代木氏については当日追加提案させていただくと説明があった。

協会賞 小林 徹也 氏 (HKFA)
安藤 亮一 氏 (室蘭FA)
松本 敏嗣 氏 (道シニア連盟)

佐藤 敏治 氏 (旭川F A)
高橋 啓 氏 (旭川F A)
手代木 直美 氏 (HK F A)

奨励賞 クラブフィールズ・リンダ (札幌F A)
J F A第15回全日本U-15女子フットサル選手権大会 準優勝
苫小牧工業高等専門学校 (苫小牧F A)
第59回全国高等専門学校体育大会サッカー競技
兼 第57回全国高等専門学校サッカー選手権大会 準優勝
北海道U-18女子 (道フットサル連盟)
2024年度第13回グリーンアリーナ神戸カップ
U-18フットサルフェスティバル 準優勝
北海道スポーツ専門学校 サッカー部 (札幌F A)
文部科学大臣杯争奪2024年度全国専門学校総合体育大会
第34回全国専門学校サッカー選手権大会 第3位
F C 7 0室蘭 (室蘭F A)
J F A第18回全日本0-70サッカー大会 第3位
梶 結南 氏 (札幌F A)
モンテギュー国際大会 U-16日本女子代表 優勝

説明の後、出席理事より質疑、意見なく、賛否を諮ったところ、理事全員の賛成を得て原案のとおり可決した。

(4) 報告事項

第1号報告 2024年度決算見込みの件・・・船田副会長(財務担当業務執行理事)
資料に基づき、以下の説明を行った。

J F A個人登録料が直接収入に変更による補助金収入と登録料支出に増減が発生している。事業収入は参加料の上限撤廃による増額があるが費用にてほぼ同額の支出が見込まれる。

(単位:千円)

2024年度決算見込み	2023年度決算	増減
I 一般正味財産増減の部	I 一般正味財産増減の部	
1 経常収支の部	1 経常収支の部	
(1) 経常収益 計 384,858	(1) 経常収益 計 393,510	△8,652
(2) 経常費用	(2) 経常費用	
登録料 26,881	登録料 57,654	△30,773
事業費 303,316	事業費 278,283	25,032
管理費 11,160	管理費 11,738	△578
交付金 33,847	交付金 34,192	△344
計 375,206	計 381,869	△6,663
当期経常増減額 9,652	当期経常増減額 11,640	△1,988

説明のあと、以下の質疑および意見があった。

(野呂) 事業費2,500万円増のうちフットサル参加料の増加分を教えてください。

(船田) 後日お知らせする。

他に質疑、意見なく、これを了承した。

第2号報告 特別委員会報告の件・・・鷺津副会長(夢きたれ特別委員会委員長)、
八島専務理事(マーケティング特別委員会委員長)

資料に基づき、以下の説明を行った。

(鷺津) 稼働前に厨房等、施設の全体清掃を行い、修繕費により 19 台のエアコン設置と消防設備の修繕等を実施した。トレセンを中心にHKFA会員外を含め約 670 名の宿泊があり、講習会などの施設利用もあった。宿泊者の食事には(株)アイデックのケータリングを用意した。以前から NPO 法人北海道スポーツクラブには一部業務へ協力頂いている。2025 年度は契約を交わし対価を支払いたい。また、継続的な運営のために正規職員の雇用やマーケティング委員会と連携して新たな収入源を獲得するなどの取り組みが必要であると感じた。今後、施設の有効活用や地域貢献についても検討していきたい。

(八島) 2024 年 7 月の委員会設置後、2 回の勉強会と 7 回の委員会を実施した。寄附金募集チラシ作成し、これを持って企業訪問を実施している。また、マーケティング戦略を担うホームページの内容充実も図っている。2/17 までの訪問企業数は 23 社で、9 社から 90 万円相当の寄附金と物品を受け取った。寄付に興味のある企業等があればマーケティング委員会へ連絡して欲しい。

説明のあと、以下の質疑および意見があった。

(本山) 決算見込みに夢きたれの収入が 411 万円計上されているが、委員会報告資料ではマイナス 14 万円となっている。3 月までにプラスになるのか。マーケティングは道協会の担当者が地区へ来て企業へ説明してくれるのか。

(船田) 夢きたれは委員会報告の通り、宿泊費等と修繕費積み立ての収入があり、最終的な収支がマイナス 10 万円程となる。

(八島) 企業への説明は地区で実施して頂く場合もあるので、別途相談させて頂く。

他に質疑、意見なく、これを了承した。

第 3 号報告 業務執行理事の業務執行状況報告の件・・・八島専務理事

資料に基づき、2024 年 11 月 21 日から 2025 年 2 月 19 日までの業務執行状況を説明した。

説明のあと、出席理事より質疑、意見等なく、これを了承した。

(5) その他・・・八島専務理事

①東日本大震災募金処理の報告

前回理事会で報告した募金の未処理 166,560 円については、寄付者の意向を確認の上、1 件を寄付者へ返金し、残り 75,815 円を 12 月 10 日に東北サッカー協会の東日本大震災義援金口座へ送金した。処理が終了したことを報告させていただく。

②災害募金の考え方、石川県協会あて募金報告

前回理事会で意見のあった能登半島地震と水害の支援として、HKFAより 10 万円とコンサドーレエスポラーダカップにおける募金 6,000 円の計 106,000 円を、1 月 20 日に石川県サッカー協会の能登半島地震災害支援金口座へ送金した。今後の災害等支援の考え方については、災害規模と過去の支援状況を勘案して、業務執行理事が支援策を策定し、常務理事会構成員に諮り承認を得てから実施するものとする。

③JFAサッカー施設整備助成事業 2024 (第一期)

2024 年 10 月に各団体等へ案内した JFA の施設整備事業について、苫小牧 F A と旭川 F A 内の 2 ヶ所を JFA へ申請し、審査中である。助成金の残額があるので今後も申請を受け付けする。

④オフィシャルサプライヤー選定に関して

2025年4月より3年間「SFIDA」と契約を結ぶ。国体ユニフォーム提供の他、各種団体の役員・委員がオンラインでウェアを割引価格で購入できるよう進めている。

⑤2024年度補助金再々配分の報告

1月にJFAより約85万円再々配分の案内があった。申請期限が1週間と短いことから、業務執行理事で検討し、以前から要望のあったAEDの購入と、HP改修およびWEB会議機器の更新に充てさせていただいた。

⑥2025年度評議員改選スケジュール

2025年度は評議員の改選期となる。3月中旬に各団体あてに候補者の調査を行い、5月初旬に推薦委員会実施、5月理事会で評議員会を招集し、6月評議員会で評議員を選任する予定で進める。

⑦今後の会議予定

2025年5月31日（土）表彰式と理事会、6月21日（土）定時評議員会を開催する。

⑧ウェルフェアオフィサー部会報告

資料により2024年度の活動を報告。2025年度は、目標1「北海道内15FAの組織化を通してCWOの全チーム配置体制を整える」、目標2「全種別で北海道カップ戦、大会へのマッチW0配置を徹底する」、目標3「講習教材の開発と共有」、目標4番目「セーフガーディングワークショップを15FAで開催する」ということを、「努力目標」として捉え、できるところから一つ一つ進めることを基本方針とする。

(深澤) 会議日程や寄付金の件など、地区へ持ち帰りたいので文書でいただきたい。

(八島) 今後用意する。

以上、議長は議事が全て終了した旨を告げ、15時12分に閉会を宣言した。

尚、WEB会議システムは終始異状なく作動した。

この議事録が正確であることを証するため、会長、監事は記名し押印する。

2025年3月8日

公益財団法人北海道サッカー協会 2024年度 第7回理事会

会 長 越 山 賢 一 印

監 事 吉 川 賀 恵 印